



平成19年3月期 決算短信

平成19年5月8日

上場会社名 株式会社プロルート丸光 上場取引所 JQ
 コード番号 8256 URL <http://www.proroute.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 佳央
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 浜家 良一 TEL 06(6262)0303
 定時株主総会開催予定日 平成19年6月14日 配当支払開始予定日 平成19年6月15日
 有価証券報告書提出予定日 平成19年6月14日

(百万円未満切捨て)

1. 19年3月期の連結業績(平成18年3月21日～平成19年3月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年3月期	36,874 (△0.9)	1,511 (6.9)	1,394 (10.3)	617 (△15.2)
18年3月期	37,219 (7.0)	1,413 (30.5)	1,264 (39.8)	727 (△15.3)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
19年3月期	33 65	—	9.3	6.3	4.1
18年3月期	39 57	—	11.8	5.5	3.8

(参考) 持分法投資損益 19年3月期 — 百万円 18年3月期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期	21,375	6,762	31.6	371 77
18年3月期	22,648	6,535	28.9	355 40

(参考) 自己資本 19年3月期 6,762百万円 18年3月期 — 百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期	1,514	△51	△1,773	832
18年3月期	2,217	△97	△1,910	1,143

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金			配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	中間期末	期末	年間			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
19年3月期	—	15 00	15 00	272	44.6	4.1
18年3月期	—	12 00	12 00	220	30.3	3.6
20年3月期 (予想)	—	15 00	15 00		34.1	

3. 20年3月期の連結業績予想(平成19年3月21日～平成20年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中間期	18,200 (1.2)	710 (2.9)	650 (3.0)	360 (114.4)	19 79
通期	37,600 (2.0)	1,550 (2.6)	1,430 (2.5)	800 (29.6)	43 98

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 有
 新規 1社 除外 1社（社名 株式会社ビークロス）
 (注) 詳細は、6ページ「企業集団の状況」をご覧ください。
- (2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、15ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。
- (3) 発行済株式数（普通株式）
 ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 19年3月期 18,399,340株 18年3月期 18,399,340株
 ② 期末自己株式数 19年3月期 209,514株 18年3月期 9,164株
 (注) 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、17ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 19年3月期の個別業績（平成18年3月21日～平成19年3月20日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期	35,379	(△0.5)	1,484	(△3.0)	1,369	(△1.0)	595	(△8.9)
18年3月期	35,573	(2.8)	1,530	(33.6)	1,383	(43.2)	653	(△29.4)

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期	32	46	—	—
18年3月期	35	56	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期	21,220	6,732	31.7	370 10
18年3月期	22,530	6,527	29.0	354 94

(参考) 自己資本 19年3月期 6,732百万円 18年3月期 1百万円

2. 20年3月期の個別業績予想（平成19年3月21日～平成20年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	17,500	(1.5)	690	(2.0)	630	(1.8)	350	(139.6)	19	24
通期	36,200	(2.3)	1,510	(1.7)	1,400	(2.2)	780	(31.0)	42	88

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

(イ) 当期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出企業を中心として企業業績が順調に推移し、設備投資も引き続き堅調で景気は緩やかながらも上昇基調にあります。

しかしながら流通業界におきましては業種業態を超えた企業間競争の激化、雇用格差や不安定な社会保障問題などの影響による個人消費の低迷等、厳しい経営環境が続いております。また当期においては冷夏・暖冬・春先の冷え込みと年間を通して異常気象の影響が大きく、特に衣料品に対する顧客の買い控えは顕著であり、その対応に苦慮した一年でもありました。

このような状況のもと当社グループのうち主力である前売卸部門においては、営業の高質化による規模の拡大と効率化を掲げ、①PB(プライベートブランド)商品の開発育成 ②リニューアルによる提案型売場作りの強化 ③新規顧客開拓 ④OEM企画商品の促進 ⑤組織のスリム化 などに取り組んでまいりました。その結果は来店客数や新規客数の増大、利益率の向上につながり、成果は確かなものとなってきております。

一方、子会社における小売部門では、婦人衣料においては徹底した最新トレンドの調達・小回りを利かした商品展開、紳士衣料では国産トラッド商品へのこだわりを徹した戦略を推し進めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は368億74百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は15億11百万円(同6.9%増)、経常利益は13億94百万円(同10.3%増)、当期純利益は6億17百万円(同15.2%減)となりました。売上高については天候不順の影響の他、子会社一社の解散の影響により前期比微減収となりましたが、営業利益・経常利益については前期及び予想値も上回り、また当期純利益については減損損失の計上により前年を下回りましたが、ほぼ計画通りの結果となりました。

(ロ) 次期の見通し

今後の見通しにつきましては、緩やかな景気回復は今後も続くものと思われませんが、力強さを欠いたままの個人消費と業界間の競争激化もあり、厳しい経営環境に変化はないものと予想されます。

このような状況のもと当社グループにおきましては、コア事業である前売卸部門では3年かけて行ってきた売場リニューアルを終えたことから次の重点課題として、PBブランドによる商品開発の再構築、人材開発育成強化、顧客創造に取り組み、これらを通して企業の“格”を引き上げ、売上・利益の増大に努めてまいります。

子会社の小売部門におきましては、この2年間は「健全な存続」をベースとして確実な売上・利益を確保してまいりましたが、今後においても現店舗における利益を重視しつつ、好立地・好条件を前提とした新規出店を視野にいたった攻めの店舗運営も行ってまいります。

次期の見通しにつきましては売上高376億円(前年同期比2.0%増)、営業利益15億50百万円(同2.6%増)、経常利益14億30百万円(同2.5%増)、当期純利益8億円(同29.6%増)を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10.6%減少し、4,975百万円となりました。これは主として繰延税金資産が385百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.0%減少し、16,399百万円となりました。これは主として有形固定資産が302百万円減少した(うち減損による減少額は213百万円)ことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.6%減少し、21,375百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.0%減少し、10,638百万円となりました。これは主として一年以内返済予定の長期借入金が507百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて17.1%減少し、3,973百万円となりました。これは主として長期借入金が904百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9.3%減少し、14,612百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、6,762百万円となりました。これは主として利益剰余金が396百万円増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて310百万円減少し、当連結会計年度末には832百万円となりました。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は1,514百万円(前連結会計年度比31.7%減)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,176百万円、減価償却費320百万円であり、支出の主な内訳は、利息の支払額173百万円です。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は51百万円(前連結会計年度比46.8%減)となりました。

収入の主な内訳は、差入保証金の返戻による140百万円であり、支出の主な内訳は、固定資産の取得による203百万円です。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は1,773百万円(前連結会計年度比7.2%減)となりました。

これは主に長期借入金の返済によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期 (当連結会計年度)
自己資本比率 (%)	25.0	28.9	31.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	29.0	39.4	38.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	10.0	5.8	7.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	6.5	11.4	8.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への継続的利益還元を重要な経営課題の一つと考え、安定配当を行うことを基本としつつ、企業基盤の強化及び今後の事業展開を勘案した上で業績に対応した配当を行うこととしております。また、キャッシュ・フローの状況に応じた自己株式の取得による株主還元策も検討してまいります。

当期の配当につきましては、前期に比べ3円増の1株あたり15円とさせていただきたいと存じます。これは当社が当面の目標としていた1株当たり15円の継続配当が出来る企業体質への回帰がかなったためであり、ご支援いただいた株主の皆様にもお応えできるものと存じます。

次期におきましても、業績見通し、財務内容等勘案し、1株あたり15円を予定しております。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社（株式会社プロルート丸光）及び連結子会社1社（株式会社サンマール）により構成されており、各種衣料品、寝具・インテリア、服飾雑貨等の販売を主たる業務としております。なお、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社ビークロスは、清算したため、連結の対象から除外しております。当社グループ内の位置付けは次のとおりであります。

財務諸表提出会社

株式会社プロルート丸光（以下「当社」という）は、各種衣料品、寝具・インテリア、服飾雑貨等の卸売り販売を行っております。

株式会社サンマール（連結子会社）

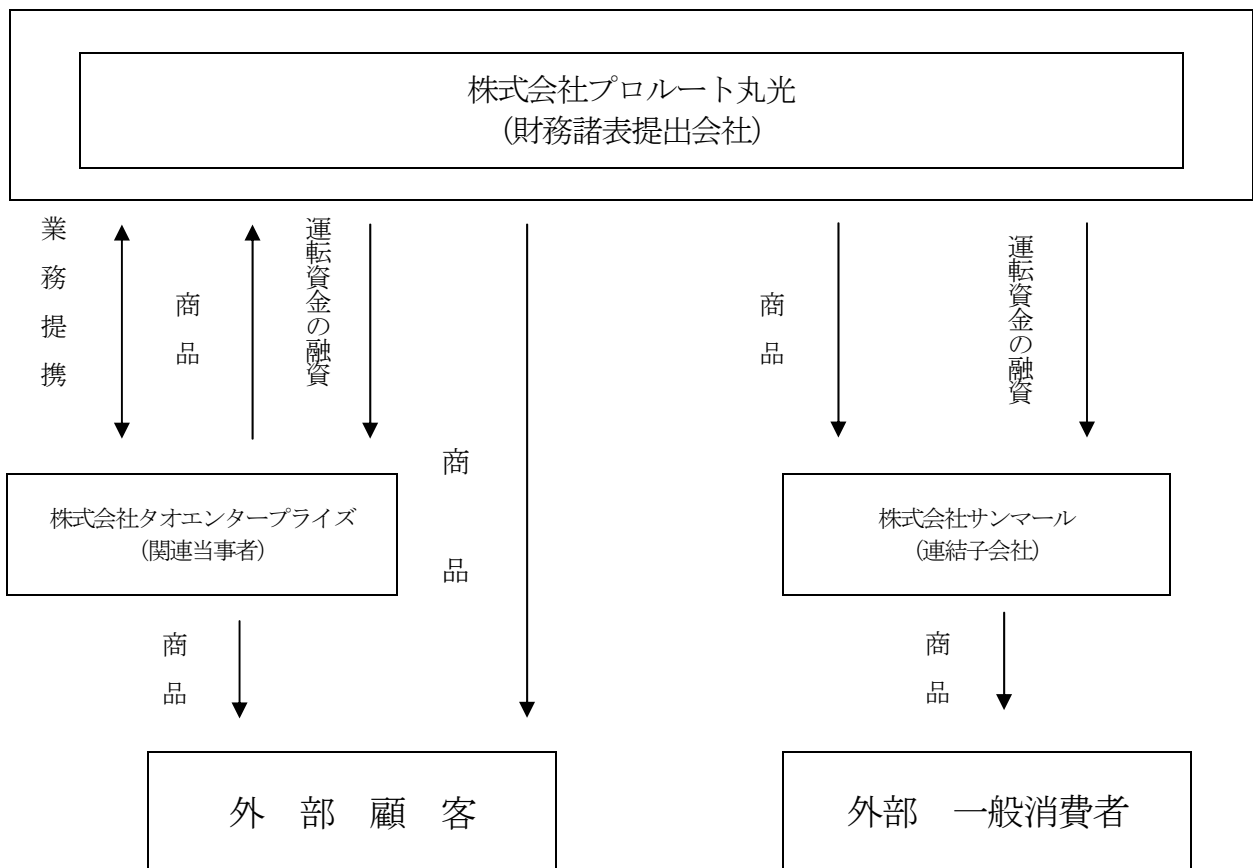
紳士及び婦人専門店として関東を中心にした店舗展開で、紳士服、婦人服、服飾雑貨等の小売り販売を行っております。なお、商品仕入は主として当社グループ外から行っておりますが、一部下図のように当社からも行っております。

株式会社タオエンタープライズ（関連当事者）

紳士・婦人・子供服の企画・生産を行っており、当社の業務提携先で運転資金の融資や商品の仕入を行っております。

なお、当社役員前田辰夫及びその近親者が、議決権の100%を直接所有しております。

事業の系統図は次のとおりであります。



3. 経営方針

- (1) 会社の経営の基本方針
- (2) 目標とする経営指標
- (3) 中長期的な会社の経営戦略
- (4) 会社の対処すべき課題

以上4項目につきましては、平成19年3月期中間決算短信(連結)(平成18年11月7日開示)により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略します。

当該中間決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.proroute.co.jp/tousika/tousika.html>

(ジャスダック証券取引所ホームページ(「JDS」検索ページ))

<http://jds.jasdaq.co.jp/tekij/>

- (5) 内部管理体制の整備・運用状況

別途開示しておりますコーポレート・ガバナンスに関する報告書の「内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況」において記載された事項と内容が重複しますので、記載を省略します。

- (6) その他、会社の経営上の重要な事項(役員との間の重要な取引に関する事項等)

当社代表取締役会長の前田辰夫が代表取締役を務める(株)タオエンタープライズに対し資金の融資、商品の仕入れを行っておりますが、取締役会決議による二社間の取引基本契約に基づくガイドラインを遵守しております。

4. 連結財務諸表等

(1) 連結貸借対照表

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成18年3月20日)		当連結会計年度 (平成19年3月20日)		比較増減	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金		1,143,323		832,604		△310,718	
2 売掛金		2,675,954		2,733,808		57,854	
3 商品		1,169,753		1,220,949		51,195	
4 貯蔵品		4,849		6,410		1,560	
5 繰延税金資産		513,950		128,280		△385,670	
6 その他		75,030		67,377		△7,652	
7 貸倒引当金		△14,502		△13,770		731	
流動資産合計		5,568,357	24.6	4,975,660	23.3	△592,697	
II 固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物及び構築物		6,673,277		6,591,279			
減価償却累計額		2,411,040	4,262,236	2,552,116	4,039,163	△223,073	
(2) 機械装置及び運搬具		522,972		522,972			
減価償却累計額		395,451	127,521	426,620	96,352	△31,169	
(3) 工具・器具・備品		758,408		900,869			
減価償却累計額		508,855	249,553	553,560	347,309	97,755	
(4) 土地			10,211,864		10,065,754	△146,110	
有形固定資産合計			14,851,176	65.6	14,548,579	68.1	△302,596
2 無形固定資産							
(1) ソフトウェア			78,585		59,109	△19,476	
(2) 電話加入権			11,696		11,696	—	
(3) その他			579		402	△176	
無形固定資産合計			90,861	0.4	71,208	0.3	△19,653
3 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券			833,878		704,030	△129,847	
(2) 長期貸付金			244,000		220,000	△24,000	
(3) 繰延税金資産			235,939		196,554	△39,385	
(4) 差入保証金			891,927		734,542	△157,384	
(5) その他			84,333		80,023	△4,309	
(6) 貸倒引当金			△151,565		△155,433	△3,867	
投資その他の資産合計			2,138,513	9.4	1,779,718	8.3	△358,795
固定資産合計			17,080,550	75.4	16,399,506	76.7	△681,044
資産合計			22,648,908	100.0	21,375,166	100.0	△1,273,742

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成18年3月20日)		当連結会計年度 (平成19年3月20日)		比較増減
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)
(負債の部)						
I 流動負債						
1 買掛金		1,298,057		1,223,786		△74,271
2 短期借入金		7,480,000		7,430,000		△50,000
3 一年以内返済予定の 長期借入金		1,621,680		1,114,040		△507,640
4 未払法人税等		33,030		92,153		59,123
5 未払消費税等		155,573		33,415		△122,157
6 賞与引当金		222,400		236,399		13,999
7 その他		506,219		509,159		2,939
流動負債合計		11,316,961	49.9	10,638,954	49.8	△678,007
II 固定負債						
1 長期借入金		3,846,840		2,942,800		△904,040
2 退職給付引当金		791,714		869,713		77,998
3 役員退職慰労引当金		41,700		49,948		8,248
4 その他		115,737		111,357		△4,380
固定負債合計		4,795,993	21.2	3,973,819	18.6	△822,173
負債合計		16,112,954	71.1	14,612,773	68.4	△1,500,180
(少数株主持分)						
少数株主持分		—		—		—
(資本の部)						
I 資本金		1,861,940	8.2	—	—	—
II 資本剰余金		1,456,450	6.4	—	—	—
III 利益剰余金		2,844,793	12.6	—	—	—
IV その他有価証券評価差額金		375,274	1.7	—	—	—
V 自己株式		△2,503	△0.0	—	—	—
資本合計		6,535,954	28.9	—	—	—
負債、少数株主持分及び資本合計		22,648,908	100.0	—	—	—

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成18年3月20日)		当連結会計年度 (平成19年3月20日)		比較増減 金額(千円)
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
(純資産の部)						
I 株主資本						
1 資本金		—	—	1,861,940	8.6	—
2 資本剰余金		—	—	1,456,450	6.8	—
3 利益剰余金		—	—	3,241,385	15.2	—
4 自己株式		—	—	△93,868	△0.4	—
株主資本合計		—	—	6,465,906	30.2	—
II 評価・換算差額等						
1 その他有価証券 評価差額金		—	—	296,486	1.4	—
評価・換算差額等合計		—	—	296,486	1.4	—
III 少数株主持分		—	—	—	—	—
純資産合計		—	—	6,762,392	31.6	—
負債純資産合計		—	—	21,375,166	100.0	—

(2) 連結損益計算書

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自平成17年3月21日 至平成18年3月20日)		当連結会計年度 (自平成18年3月21日 至平成19年3月20日)		比較増減 金額(千円)		
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)			
I 売上高			37,219,790	100.0	36,874,186	100.0	△345,604	
II 売上原価			29,249,512	78.6	28,918,319	78.4	△331,193	
売上総利益			7,970,277	21.4	7,955,866	21.6	△14,410	
III 販売費及び一般管理費			6,556,515	17.6	6,444,648	17.5	△111,867	
営業利益			1,413,761	3.8	1,511,218	4.1	97,456	
IV 営業外収益								
1 受取利息		11,334			10,448			
2 受取配当金		2,909			4,162			
3 その他		45,659	59,903	0.2	45,538	60,149	0.2	246
V 営業外費用								
1 支払利息		192,826			169,752			
2 貸倒引当金繰入額		8,802			—			
3 その他		7,301	208,930	0.6	7,022	176,775	0.5	△32,155
経常利益			1,264,734	3.4	1,394,592	3.8	129,858	
VI 特別利益								
1 投資有価証券売却益		955	955	0.0	—	—	—	△955
VII 特別損失								
1 減損損失	※1	—			213,787			
2 固定資産除却損		79,139			4,719			
3 店舗撤退損		9,565			—			
4 リース解約損		1,008	89,712	0.2	—	218,507	0.6	128,794
税金等調整前当期純利益			1,175,977	3.2	1,176,085	3.2	107	
法人税、住民税及び事業税			7,832	0.0	79,821	0.2	71,988	
法人税等調整額			440,438	1.2	478,990	1.3	38,551	
当期純利益			727,706	2.0	617,274	1.7	△110,432	

(3) 連結剰余金計算書

		前連結会計年度 (自平成17年3月21日 至平成18年3月20日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	
(資本剰余金の部)			
I 資本剰余金期首残高			1,456,450
II 資本剰余金期末残高			1,456,450
(利益剰余金の部)			
I 利益剰余金期首残高			2,337,788
II 利益剰余金増加高			
当期純利益		727,706	727,706
III 利益剰余金減少高			
配当金		220,701	220,701
IV 利益剰余金期末残高			2,844,793

(4) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自平成18年3月21日至平成19年3月20日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月20日残高(千円)	1,861,940	1,456,450	2,844,793	△2,503	6,160,679
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当(注)			△220,682		△220,682
当期純利益			617,274		617,274
自己株式の取得				△91,364	△91,364
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計(千円)			396,591	△91,364	305,227
平成19年3月20日残高(千円)	1,861,940	1,456,450	3,241,385	△93,868	6,465,906

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月20日残高(千円)	375,274	375,274	—	6,535,954
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当(注)				△220,682
当期純利益				617,274
自己株式の取得				△91,364
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△78,788	△78,788		△78,788
連結会計年度中の変動額合計(千円)	△78,788	△78,788		226,438
平成19年3月20日残高(千円)	296,486	296,486	—	6,762,392

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

		前連結会計年度 (自平成17年3月21日 至平成18年3月20日)	当連結会計年度 (自平成18年3月21日 至平成19年3月20日)	比較増減
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益		1,175,977	1,176,085	107
減価償却費		342,830	320,406	△22,423
固定資産除却損		79,139	4,719	△74,419
減損損失		—	213,787	213,787
退職給付引当金の増加額		104,415	77,998	△26,417
賞与引当金の増加額		10,900	13,999	3,099
受取利息及び受取配当金		△14,243	△14,610	△367
支払利息		192,826	169,752	△23,074
投資有価証券売却益		△955	—	955
貸倒引当金の増加額		9,241	3,135	△6,105
売上債権の減少額(増加は△表示)		46,458	△57,854	△104,313
棚卸資産の減少額(増加は△表示)		263,701	△52,756	△316,457
仕入債務の減少額		△41,449	△74,271	△32,821
破産更生債権等の回収による収入		146	—	△146
その他		234,643	△99,250	△333,894
小計		2,403,634	1,681,141	△722,492
利息及び配当金の受取額		14,243	14,610	367
利息の支払額		△193,064	△173,629	19,434
法人税等の支払額		△7,562	△7,525	37
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,217,251	1,514,597	△702,653
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
固定資産の取得による支出		△228,096	△203,905	24,191
投資有価証券の取得による支出		△2,847	△2,875	△27
投資有価証券の売却による収入		31,704	—	△31,704
貸付金の回収による収入		25,048	24,375	△673
出資金の増加による支出		—	△30	△30
出資金の減少による収入		2,302	20	△2,282
差入保証金の増加による支出		△17,221	△16,106	1,115
差入保証金の返戻による収入		92,093	140,933	48,839
その他		—	6,000	6,000
投資活動によるキャッシュ・フロー		△97,017	△51,589	45,428
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純減少額		△190,000	△50,000	140,000
長期借入れによる収入		—	300,000	300,000
長期借入金の返済による支出		△1,499,080	△1,711,680	△212,600
自己株式の取得による支出		△682	△91,364	△90,682
配当金の支払額		△220,701	△220,682	19
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,910,464	△1,773,726	136,737
IV 現金及び現金同等物の増加額(減少は△表示)		209,769	△310,718	△520,488
V 現金及び現金同等物の期首残高		933,553	1,143,323	209,769
VI 現金及び現金同等物の期末残高		1,143,323	832,604	△310,718

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

項 目	前連結会計年度 (自 平成17年3月21日 至 平成18年3月20日)	当連結会計年度 (自 平成18年3月21日 至 平成19年3月20日)
1. 連結の範囲に関する事項	(1) 連結子会社の数 2社 連結子会社の名称 株式会社ビークロス 株式会社サンマール (2) 非連結子会社の数 該当事項はありません。	(1) 連結子会社の数 1社 連結子会社の名称 株式会社サンマール なお、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社ビークロスは、清算したため、連結の対象から除外しております。 (2) 非連結子会社の数 同左

なお、上記「連結の範囲に関する事項」以外は、最近の有価証券報告書(平成18年6月15日提出)における記載から重要な変更がないため、開示を省略します。

(7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

当連結会計年度 (自 平成18年3月21日 至 平成19年3月20日)
<p>(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等) 当連結会計年度から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。 これによる損益に与える影響はありません。 なお、従来「資本の部」の合計に相当する金額は6,762,392千円であります。</p> <p>連結財務諸表規則の改正により、当連結会計年度における連結財務諸表は、改正後の連結財務諸表規則により作成しております。</p>
<p>(固定資産の減損に係る会計基準) 当連結会計年度から「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)を適用しております。 これにより税金等調整前当期純利益が213,787千円減少しております。 なお、減損損失累計額については、改正後の連結財務諸表規則に基づき当該各資産の金額から直接控除しております。</p>

(8) 連結財務諸表に関する注記事項

(連結損益計算書関連)

項目	当連結会計年度 (自 平成18年3月21日 至 平成19年3月20日)																															
	※1 減損損失	<p>当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="4">①</td> <td>用途</td> <td>賃貸不動産</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>土地・建物</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>千葉県</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>198,617千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">②</td> <td>用途</td> <td>店舗</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>建物</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>東京都</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>12,538千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">③</td> <td>用途</td> <td>福利厚生施設</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>土地・建物</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>兵庫県</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>2,631千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計金額</td> <td>213,787千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、固定資産の減損に係る会計基準における資産のグルーピング方法として、店舗等については継続して収支を把握している単位で、遊休資産については当該資産単独でグルーピングしております。なお、上記千葉県の物件については、従来従業員寮として使用しておりましたが、現在は外部一般に賃貸しているため、賃貸用不動産としております。</p> <p>営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループや土地の時価下落が著しい資産グループについて帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(213,787千円)として特別損失に計上しております。</p> <p>減損損失の内訳は、土地146,110千円、建物66,350千円、その他1,326千円であります。</p> <p>なお、当資産グループの回収可能価額は正味売却価額または使用価値により測定しております。正味売却価額については路線価等を基準として評価しております。また、使用価値については将来キャッシュ・フローを適正な割引率で割り引いて算定しております。</p>		①	用途	賃貸不動産	種類	土地・建物	場所	千葉県	金額	198,617千円	②	用途	店舗	種類	建物	場所	東京都	金額	12,538千円	③	用途	福利厚生施設	種類	土地・建物	場所	兵庫県	金額	2,631千円	合計金額	
①	用途	賃貸不動産																														
	種類	土地・建物																														
	場所	千葉県																														
	金額	198,617千円																														
②	用途	店舗																														
	種類	建物																														
	場所	東京都																														
	金額	12,538千円																														
③	用途	福利厚生施設																														
	種類	土地・建物																														
	場所	兵庫県																														
	金額	2,631千円																														
合計金額		213,787千円																														

(セグメント情報)

1. 事業の種類別セグメント情報

前連結会計年度(自平成17年3月21日 至平成18年3月20日)及び当連結会計年度(自平成18年3月21日 至平成19年3月20日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「卸売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

2. 所在地別セグメント情報

前連結会計年度(自平成17年3月21日 至平成18年3月20日)及び当連結会計年度(自平成18年3月21日 至平成19年3月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 海外売上高

前連結会計年度(自平成17年3月21日 至平成18年3月20日)及び当連結会計年度(自平成18年3月21日 至平成19年3月20日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(開示の省略)

リース取引、関連当事者との取引、税効果会計、有価証券、デリバティブ取引、退職給付に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、開示を省略します。

(ストック・オプション等)

(企業結合等)

以上2項目につきましては、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自平成17年3月21日 至平成18年3月20日)	当連結会計年度 (自平成18年3月21日 至平成19年3月20日)
1株当たり純資産額	355.40円	371.77円
1株当たり当期純利益金額	39.57円	33.65円
	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため、記載しておりません。	同左

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自平成17年3月21日 至平成18年3月20日)	当連結会計年度 (自平成18年3月21日 至平成19年3月20日)
連結損益計算書上の当期純利益	727,706千円	617,274千円
普通株式に係る当期純利益	727,706千円	617,274千円
普通株主に帰属しない金額	—千円	—千円
普通株式の期中平均株式数	18,391千株	18,343千株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

	前事業年度 (平成18年3月20日)		当事業年度 (平成19年3月20日)		比較増減 金額(千円)
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
(資産の部)					
流動資産	[5,442,804]	24.2	[4,701,193]	22.2	[△741,610]
現金及び預金	1,087,516		716,508		△371,007
売掛金	2,627,282		2,682,156		54,873
商品	1,078,002		1,122,196		44,194
貯蔵品	2,679		3,587		907
前渡金	6,196		4,884		△1,312
前払費用	22,102		17,781		△4,321
繰延税金資産	513,950		125,103		△388,847
短期貸付金	44,375		24,000		△20,375
未収入金	59,202		646		△58,556
その他	15,998		18,099		2,101
貸倒引当金	△14,502		△13,770		731
固定資産	[17,088,039]	75.8	[16,519,331]	77.8	[△568,707]
有形固定資産	[14,765,260]	65.5	[14,462,188]	68.2	[△303,072]
建物	4,188,275		3,966,169		△222,106
構築物	15,850		13,332		△2,517
機械装置	125,830		95,270		△30,560
車両運搬具	1,691		1,082		△609
工具・器具・備品	221,748		320,578		98,830
土地	10,211,864		10,065,754		△146,110
無形固定資産	[88,424]	0.4	[66,712]	0.2	[△21,712]
ソフトウェア	78,585		56,950		△21,635
電話加入権	9,762		9,762		—
施設利用権	76		—		△76
投資その他の資産	[2,234,354]	9.9	[1,990,431]	9.4	[△243,922]
投資有価証券	833,878		704,030		△129,847
関係会社株式	240,722		240,722		—
出資金	5,241		6,326		1,085
長期前払費用	37,552		35,364		△2,187
繰延税金資産	240,003		190,975		△49,028
差入保証金	543,102		510,212		△32,889
関係会社長期貸付金	200,000		200,000		—
長期貸付金	244,000		220,000		△24,000
破産更生債権等	29,565		33,433		3,867
その他	11,854		4,799		△7,055
貸倒引当金	△151,565		△155,433		△3,867
資産合計	22,530,843	100.0	21,220,525	100.0	△1,310,317

	前事業年度 (平成18年3月20日)		当事業年度 (平成19年3月20日)		比較増減 金 額 (千円)
	金 額 (千円)	構成比 (%)	金 額 (千円)	構成比 (%)	
(負債の部)					
流動負債	[11,221,354]	49.8	[10,528,587]	49.6	[△692,767]
買掛金	1,228,253		1,158,273		△69,979
短期借入金	7,480,000		7,430,000		△50,000
一年以内返済予定の 長期借入金	1,621,680		1,114,040		△507,640
未払金	46,210		58,838		12,627
未払法人税等	30,962		78,588		47,626
未払消費税等	155,048		28,972		△126,075
未払費用	361,797		354,320		△7,477
前受金	42,067		44,212		2,145
預り金	4,838		3,185		△1,652
賞与引当金	222,400		230,000		7,600
その他	28,097		28,155		57
固定負債	[4,782,045]	21.2	[3,959,872]	18.7	[△822,173]
長期借入金	3,846,840		2,942,800		△904,040
退職給付引当金	791,714		869,713		77,998
役員退職慰労引当金	41,700		49,948		8,248
預り保証金	101,790		97,410		△4,380
負債合計	16,003,400	71.0	14,488,459	68.3	△1,514,941
(資本の部)					
資本金	[1,861,940]	8.3	—	—	—
資本剰余金	[1,456,450]	6.5	—	—	—
資本準備金	465,485		—	—	—
その他資本剰余金	990,965		—	—	—
資本準備金減少差益	990,965		—	—	—
利益剰余金	[2,836,282]	12.6	—	—	—
任意積立金	2,100,000		—	—	—
別途積立金	2,100,000		—	—	—
当期末処分利益	736,282		—	—	—
その他有価証券評価差額金	375,274	1.6	—	—	—
自己株式	△2,503	△0.0	—	—	—
資本合計	6,527,443	29.0	—	—	—
負債・資本合計	22,530,843	100.0	—	—	—

	前事業年度 (平成18年3月20日)		当事業年度 (平成19年3月20日)		比較増減 金額(千円)
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
(純資産の部)					
株主資本	—	—	[6,435,580]	30.3	—
資本金	—	—	[1,861,940]	8.8	—
資本剰余金	—	—	[1,456,450]	6.9	—
資本準備金	—	—	465,485		—
その他資本剰余金	—	—	990,965		—
利益剰余金	—	—	[3,211,059]	15.0	—
その他利益剰余金	—	—	[3,211,059]	15.0	—
別途積立金	—	—	2,500,000		—
繰越利益剰余金	—	—	711,059		—
自己株式	—	—	△93,868	△0.4	—
評価・換算差額等	—	—	[296,486]	1.4	—
その他有価証券 評価差額金	—	—	296,486		—
純資産合計	—	—	6,732,066	31.7	—
負債純資産合計	—	—	21,220,525	100.0	—

(2) 損益計算書

		前事業年度 (自 平成17年3月21日 至 平成18年3月20日)		当事業年度 (自 平成18年3月21日 至 平成19年3月20日)		比較増減
区分	注記 番号	金 額 (千円)	百分比	金 額 (千円)	百分比	金額 (千円)
売 上 高		[35,573,425]	%	[35,379,234]	%	[△194,191]
売 上 原 価		[28,251,826]	[100.0]	[28,041,154]	[100.0]	[△210,671]
売上総利益		7,321,598	[79.4]	7,338,079	[79.3]	16,480
販売費及び一般管理費		[5,791,407]	20.6	[5,854,014]	16.5	[62,607]
営業利益		1,530,191	4.3	1,484,064	4.2	△46,126
営業外収益		[59,340]	[0.2]	[59,025]	[0.2]	[△315]
受取利息		14,927		13,822		△1,105
受取配当金		2,909		4,162		1,253
その他の営業外収益		41,503		41,040		△463
営業外費用		[205,768]	[0.6]	[173,315]	[0.5]	[△32,452]
支払利息		190,440		169,752		△20,688
貸倒引当金繰入額		8,802		—		△8,802
その他の営業外費用		6,525		3,562		△2,962
経常利益		1,383,763	3.9	1,369,774	3.9	△13,989
特別利益		[955]	[0.0]	[—]	[—]	[△955]
投資有価証券売却益		955		—		△955
特別損失		[288,610]	[0.8]	[214,803]	[0.6]	[△73,806]
減損損失		—		213,787		213,787
関係会社清算損失		267,000		—		△267,000
関係会社株式評価損		10,000		—		△10,000
固定資産除却損		11,610		1,016		△10,594
税引前当期純利益		1,096,108	3.1	1,154,970	3.3	58,861
法人税、住民税及び事業税		5,762	0.0	67,701	0.2	61,939
法人税等調整額		436,375	1.2	491,810	1.4	55,435
当期純利益		653,971	1.9	595,459	1.7	△58,512
前期繰越利益		82,310				
当期未処分利益		736,282				

(3) 利益処分計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (平成18年6月15日)
I 当期末処分利益	736,282
II 利益処分量	
1. 配当金	220,682
2. 任意積立金	400,000
合 計	620,682
III 次期繰越利益	115,600

(注) 日付は、株主総会承認日であります。

(4) 株主資本等変動計算書

当事業年度(自平成18年3月21日至平成19年3月20日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
平成18年3月20日残高(千円)	1,861,940	465,485	990,965	1,456,450
事業年度中の変動額				
剰余金の配当(注)				
当期純利益				
自己株式の取得				
別途積立金の積立				
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)				
事業年度中の変動額合計(千円)				
平成19年3月20日残高(千円)	1,861,940	465,485	990,965	1,456,450

	株主資本				
	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
	別途積立金	繰越利益剰余金			
平成18年3月20日残高(千円)	2,100,000	736,282	2,836,282	△2,503	6,152,168
事業年度中の変動額					
剰余金の配当(注)		△220,682	△220,682		△220,682
当期純利益		595,459	595,459		595,459
自己株式の取得				△91,364	△91,364
別途積立金の積立	400,000	△400,000			
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)					
事業年度中の変動額合計(千円)	400,000	△25,223	374,776	△91,364	283,412
平成19年3月20日残高(千円)	2,500,000	711,059	3,211,059	△93,868	6,435,580

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年3月20日残高(千円)	375,274	375,274	6,527,443
事業年度中の変動額			
剰余金の配当(注)			△220,682
当期純利益			595,459
自己株式の取得			△91,364
別途積立金の積立			
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	△78,788	△78,788	△78,788
事業年度中の変動額合計(千円)	△78,788	△78,788	204,623
平成19年3月20日残高(千円)	296,486	296,486	6,732,066

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

商品別売上高

(単位：千円)

商品種別	前事業年度 (自平成17年3月21日 至平成18年3月20日)		当事業年度 (自平成18年3月21日 至平成19年3月20日)		増減 (△は減少)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
	千円	%	千円	%	千円	%
寝具・インテリア	3,186,025	9.0	3,230,021	9.1	43,996	1.4
実用衣料	5,994,337	16.9	6,063,258	17.1	68,921	1.2
紳士外着	3,659,139	10.3	3,401,385	9.6	△257,754	△7.0
子供・ベビー外着	1,834,378	5.2	1,553,682	4.4	△280,696	△15.3
婦人外着	15,838,615	44.4	16,118,055	45.6	279,440	1.8
服飾雑貨	3,460,410	9.7	3,629,452	10.3	169,042	4.9
その他	1,600,521	4.5	1,383,381	3.9	△217,140	△13.6
合計	35,573,425	100.0	35,379,234	100.0	△194,191	△0.5

以上